

京都建築スクール（KAS）での活動が書籍になりました

建築計画研究室では、2013年度より関西の建築系大学による合同設計演習である京都建築スクール（KAS）に参加しています。今年度は「居住の場の再編」を共通テーマに、京都大学や近畿大学など、それぞれの参加校が敷地や設計プログラムを自由に設定・立案し、4月から7月にかけて毎月勉強会や設計案の経過報告会を重ねつつ設計作品の制作を行い、7月末に展覧会を開催、ゲスト審査員を招いた講評会も行われました。学生たちは学内で取り組んでいるいつもの設計課題とは少し異なった、都市スケールでの設計コンセプトの設定や、他大学の先生や学生との議論に戸惑いや緊張をしながらも、新たな刺激に多くを学びました。

12月には、各参加校の作品と、毎月の勉強会などで行われた講演などの内容をまとめた書籍が出版されました。参加学生全員が著者として名を連ねており、自分たちの活動成果がこのようにして社会に発信されることに、充実感や達成感を味わいました。

トピックス提供：朽木順綱（建築計画研究室）



KAS 2014 のポスター



12月に書籍化。一般販売されています。